

広報 なかがはま 7月号



肱川河口の砂場には絶えまなくゴミが打ち寄せられるが、付近の住民や長浜高校生らの手で清掃されている



行楽客への最高のもてなしは清潔で美しいことでは？

清潔に……

街・川・海を美しく！

読者壇

2人にちは

店に立ち寄りられた釣客が「こちらの海岸はなんときれいですね。渚の小石は青く海水が透きとおって磯に生えているアラメの一枚一枚揺らいでいるのが道路からも見えま

すよ」とよその人にほめられて初めて郷土のよさを見直した私です。そういえばすぐ頭に浮かぶのは、出石寺、脇川、青島、長浜大橋だが、沖浦から出海へ向う海岸沿いの風景は知らない人が多いと思うが、とても美しいと思う。沖浦から出るとすぐ眼に入る松の枝ぶりの見事さ、須沢の手前のさいの鼻のびよぶのようにそり立つ岩壁、赤い鳥居を頭にちよこんと頂いた神秘的伝説の残る綱掛岩、

見直そう郷土のよさ

竿着浦(そうずくら)には雄姿を誇るライオン岩等々、有名な観光地もそのけだとは自慢したい。その上風景だけでなく山の幸海の幸にも恵まれている。ある老人が「石路(つわぶき)の群生している地域は土壌が肥



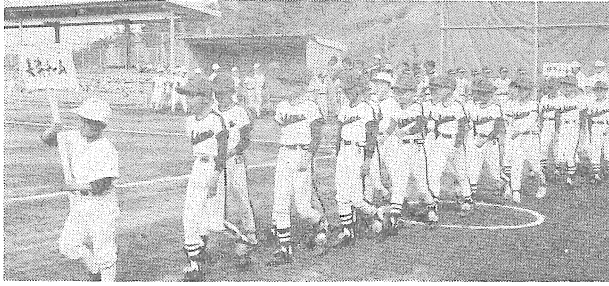
谷井光恵 (44歳) 橋生・商業

えている」と言われた。もっともみかんは生産過剰で豊作貧乏の気配は皮肉だが。また、海はというと鹿島あたりのような花こう岩でないからヒジキ、ワカメ、アオサ、テングサなどこれまた豊富。しかし、

石路の若芽もあまり乱獲するので年々減っていくようだ。ヒジキも刈った後、次の大潮には食用にならぬ藻が生い茂ってヒジキは下じきになっている。ヒジキを刈る時藻も一緒に刈り倒しておけば次の潮までにびていたのではないかと思う。

アワビやサザエも以前のように今は沢山いない。後のことを考えずに乱獲するからだ。ある潜水夫は小さい貝はそと元の場所へおいてやると話していた。

私達は忙しい仕事の明け暮れだが、その中からともすれば見過してしまふ郷土の自然の美しさ、よさを見直し、そしていつまでもいまの美しさ、豊さを失わないよう、自然をいとおしみ大切にすべきだと思います。



粘り、チームワークで夢目指す 長浜リトルリーグ

満九歳から十二歳までの少年たちを対象とした世界的な野球組織「リトルリーグ(LITTLE LEAGUE)」の長浜チームが結成されて約半年。発足当時十六人だったメンバーも今では二十八人。高田満気監督のもと毎日曜日練習に励み、精神力ともにスクスク成長している。県下では東松山、西松山、伊予の三チームだけだった同リーグも、昨年に御荘、城辺、砥部、久万、長浜が加わって今や八チーム。春、夏、秋の定期大会を目指している。初出場のこの春の大会(五月二日松山球場)では準々決勝にまで進出、最も小柄なチームながら、粘り強さとチームワークのよさを誇っており、県大会、関西大会、全国大会、極東大会、世界大会へと夢はデッカイ。リトルリーグの野球ルールはその年ごろの体位に合うよう医学的見地から設定された独特のもの。また、ボールは硬球を使用するが、このルールで行うと危険はないという。長浜チームへの入団条件には五十メートル走とボール投げテストがある。入会金五千円、部費一人月千円、父兄会費月五百円などが運営費。会長は菊地嘉彦町長。入団申込みはいつでもOK。「長浜本町・岡成美副会長までどうぞ!」とのこと。【写真は赤い野球帽子にユニークなユニホーム姿の長浜チームメンバー(上)と春季大会で行進する同チーム】

「ふるさと」

519人が観劇

長浜町連合青年団では、去る四月十一日長浜高校体育館で行った統一劇場による「ふるさと」公演の結果をまとめました。

それによると、入場券(一枚千円)は八百八十枚売れ、公演料、諸経費を差し引いて約十萬円の黒字決算。また、観劇入場者は五百十九人、残る三百六十一人の方は団に対する特別な支援によるものと受けとめています。

残金約十萬円は「青年の宿」建設基金に当てることにしているほか、団では同事業に対し住民の皆さんから多大な協力があったことへの感謝のしるしとして、今年度中に団員名簿を作成して各戸に配りたいとしています。

今後も公演を

アンケート結果

同連合青年団では、今後の参考とするため公演当日、会場でアンケート調査を行いました。観劇者のうち百四十二人の方の回答の結果は次の通り。

- 券を買った動機「見たいから」37
お付き合いで88、強制的に買わされた13、回答なし4
公演を見ての感想「良かった」83
まあまあ35、あまりよくなかった6
回答なし21

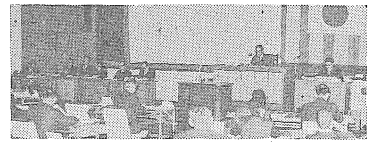
入場料(大千円、中・高八百円)は? 「適当」95、高「36、安い」6、回答なし5

今後このような公演を行った方がよいかどうか「行った方がよい」91、行わなくてよい7、わからない29、回答なし15

議 会

議 会

臨時議会
第二回



長浜町議会第二回臨時議会が、五月二十五日長浜町体育館で開かれ、町税条例の一部改正案など上程された十議案がいずれも原案通り可決されたほか、陳情文書二件が採択されました。おもなものの内容は次の通り。

個人均等割額は700円

町税条例を改正

地方税法の改正に伴い、長浜町税条例の一部が改正され、五十一年度分から次のように改められることになりました。

町民税関係では①これまで三百円であった個人均等割額が七百円に引上げられました。(なお、県民税個人均等割も百円から三百円に引上げられましたので、町県民税合わせると千円になります)②低所得者層の負担の軽減を図るため、各例で定める所得以下の者に対しては、個人の均等割額を課税しないことになりました。③法人の均等割額がこれまでの約三倍に引上げられました。ただし、長浜町では今回の改正から標準税率としたため三倍までにはなりません。④障害者、未成年者、老年者、か婦の非課税額(税金がかからない額)の範囲は、これまで年所得六十万円以下でしたが、これが七十万円以下に改められました。⑤これまで三十万円であった白色申告の専従者控除の限度額が四十万円に改められました。

固定資産税関係では、昭和三十八年度以降、改正の対象からはずされてきた農地についても評価替

えが行われることになり、課税標準額が上がることに なりました。

軽自動車税が約 三〇割引上げられ ました。

千円までは 一括徴収

町税の徴収等の 特例に関する条例 の一部が改正され

これまで四百円までの町税につい ては一括して徴収することになっ ていたものを個人均等割額の改正 などにもない、五十一年度分からは千円までを一括して徴収する ことになりました。

より実態に適應した課税図る

国保税条例を改正

国民健康保険税条例の一部が改正され、昭和五十一年度分から、国保税の最高限度額がこれまでの十二万円から十五万円に引上げられたほか、年度途中で被保険者の異動があった場合、これまでの条例では、当初調定した額はその年度間は改正・変更しないことになって いましたが、今度の改正でその 事由が生じた月から被保険者が減った場合は減額、出生・転入など でふえた場合は増額してゆくと いう措置を月別に行うことになり、 より実態に適應した課税を図る ことになりました。

国道昇格運動費 など補正

一般会計に百二十万円補正。 使用みちは、国道三七八号線整

備促進協議会への負担金、櫛生小屋外運動場照明施設費。国民健康保険直営診療所特別会計に二十五万円補正。使用みちは、前年度同会計の赤字充用金。

「青島丸建造特別委員会」を設置

現在就航している青島丸は老朽化が著しく、新造船青島丸の速やかな建造促進が迫られているため「青島丸建造特別委員会」が設置されるとともに、次の各議員が同会の委員に選任されました。城戸岡健雄、西宮正幸、山本薫、池田登、二宮義徳、浦田定一、宮泰忠、頼永一夫

沖浦漁港工事請負 契約の締結を承認

今年度の沖浦漁港改修工事を一千三百五十万円で株式会社・西田興産と請負契約を結ぶことが承認されました。



新造が迫られている青島丸

陳情文書二件を採択

長浜二十九区区长・小川儀三郎さんからの「新大橋架設による波しびき被害に関する件」、長浜小学校PTA会長・新山博邦さんからの「長浜小学校校舎改築および

水泳プール早期建設のお願いに関する件」の各陳情文書は、いずれも採択され、町理事者に対し主旨に添うよう善処を要望することになりました。

そのほか

①義務教育諸学校等の女子教職員および医療施設、社会福祉施設等の看護婦、保母などの育児休業に係る給与等に関する条例が新しく定められ、五月二十五日から施行されることになりました。②国道三七八号線改良工事施行に伴う大字今坊ヲヤの公有水面埋立てについて、知事から町長の意見が求められましたが、異議のないむねを答申することが承認されました。

③昭和五十一年度一般会計に七百九十二万四千円を補正。おもな使用みちは予備費。

日高さんが県青年部 連合会長に



長浜町商工会青年部長である長浜二十九区の日高照友さん(三四

II写真)が、五月二十七日松山市で開かれた愛媛県商工会青年部連合会総会で同会会長に選任されました。日高さんは部員の信望も厚く、四十五年度から当町商工会青年部長を務め、まとまりのある部会として全国に誇る部会を育てた手腕は高く評価され、四十七年度からは県の青年部連合会副会長も務めていました。

松田弥生さん(県商工会連合会長・長浜)とともに、県商工会青年部最高ポストでの活躍が期待されます。

サビに木炭

ハサミや包丁など金物のサビは木炭でこすると簡単にとれます。また、ときどき木炭のみがいていると、サビがつかず気持よく使えます。

ワイシャツのよこれ

ワイシャツは、よくにえりとそで口のごれが目立つものです。えりアカのしみたワイシャツは、ぬるま湯にひたしてから

豆ちしぎ

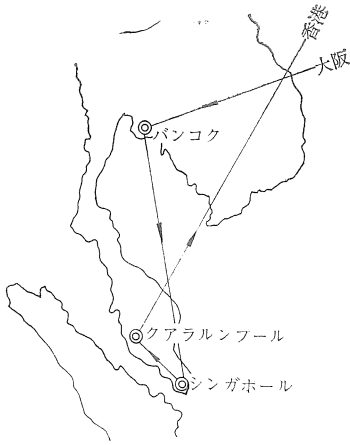
油アカのついてる部分にアンモニアを二、三滴たらして軽くもむようにして洗うと、よこれが落ちます。

乗り物酔いにレモン

乗り物酔いにレモンは、旅行などする場合レモンを持ってゆくと安心です。どうもおかしいと思ったら、レモンをかじるとよくなるものです。

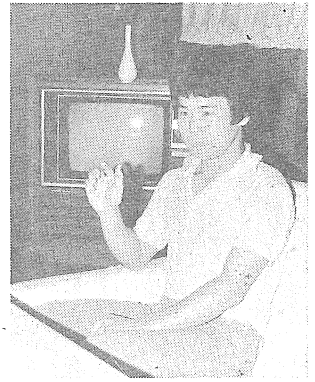
貯蓄がまもる確かなくらし

長浜町・愛媛県貯蓄推進協議会



海外の産業、文化、教育などを实地視察し、その経験を所属団体や地域などで積極的に生かしてゆこうと愛媛青年社会参加会議の主催で毎年行われていた青年海外研修。今年度は五月十二日から二十五日にかけて県下の青年三十五人がタイ、マレーシア、シンガポールの三か国を訪問、長浜町から参加された白滝の玉井一明さんに訪問記をお寄せいただきました。

東南アジアを訪問して



玉井一明
(白滝・26歳)

動脈思わす水上生活

タイ、シンガポール、マレーシアの三か国を訪問して参りました。そして想像もつかなかった体験を得ました。

「東南アジア」といえば、皆さんはまず何を想像されますか？

機会があれば一度は日本を離れ外国の土を踏んでみたいと思う気持ち、だれしもあることでしょう。幸いにして、私はこのほどそのチャンスに恵まれました。

タイ 一四世紀中ごろから四百十七年間にわたり「日本町」として栄えたタイ王国の都「アユタヤ」に入ると、いきなり十歳くらいの子ども二、三人が私の所へ駆け寄ってきました。かわい子どもたちだなあと、私は笑顔で受け答えました。すると「ドクジャピン」とかいいう小さな花を一輪突き出したので、私はなんの気なしに受け取ると、今度は「五バーツ(七十五円)五バーツ」というのです。そう、その一輪の花を五バーツで買ってくれと言っているのです。

タイではこのような光景は観光地はもちろんのこと、どこにも見られ、バスから降りると待ち構えるように数人の子どもたちがゾウの木彫り細工や帽子、うちわなどを買ってくれと私たちにしつこく付きまとうのです。

バンコク市内を流れるメナム河の水上生活にはまたまた驚きました。年中赤土色をしているというこの河では洗たくをしている人、

からだを洗っている人、泳いでいる子どもがいたりと思えば一方では食器を洗っている姿が見られます。また、バナナやコーヒ、ソバなどを小舟に積んで売っているわが商舟が往來しており、その光景はタイの生活の動脈を感じさせるものがあります。

また、タイ国民の九〇％は「小乗仏教」を信奉しており、その教義にのっとり僧侶は絶対に女性に触れてはならないとか、ちょっと驚きました。



タイのメナム河水上マーケット

タイ国最後の思い出の地「バンサレー村」は人口五百人。これから

ら開けようとしている海水浴場にはヤシの木が整然とならび、遠浅の海はどこまでも美しく、まさに南国の魅力を象徴しているかのようでした。このバンサレーを後に次の訪問国「シンガポール」へ：

ゴミを捨てる罰金

シンガポール 第二次大

戦前は英国の直轄植民地でしたが一九六三年九月、マレーシア連邦成立と共にその一員となりました。しかし、マレー人優位の政策

をとるマレーシア中央政府と、中国人が四分の三と絶対多数を占めるシンガポールとは、一方がゴムやスズなど農・鉱業中心であるのに対して、一方は工・商業中心地であるといった利害の対立もかからんで、しだいにシンガポール側の不満が高まり、建国わずか二年の一九六五年八月、シンガポールはマレーシア連邦から脱退、同年十二月に独立共和国となりました。

この国の第一印象は、町が非常に清潔であること。その理由は所定の場所以外にはゴミを捨ててはいけないというところにあるようで、ゴミを捨てる罰金を支払わなければならないそうです。例えばタバコの吸いがら捨てるとシンガポールの吸いがら捨てると日本円で約六万円の罰金とかで第一印象の裏付けを見せられました。また、長髪も許されません。

ことばは、中国人七六割、マレー人一五割、インド人七割、その他二割で構成される複合人種国家であることから、公用語も英語、中国語、マレー語、タミール語(インド語)の四か国語です。日本あるいは日本人に対する尊敬は非常に強いものが感じられ、日本の産業や技術を学ぼうとする意欲には驚嘆しました。いずれの分野においても日本の進出、協力を期待していることが強く伺えました。

日本人に誇り

マレーシア 最後の訪問

国であるこの国もまた多民族国家。いわゆる「クブミプトラ」(土地の子)といわれるマレー人、中国系人、インド系人などから構成され、それぞれに民族の言語、宗教、風俗、習慣、生活様式が異な

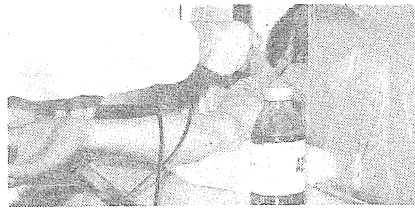
っています。このような多民族をマレーシアという一つの国家として融和、統合するためにマレーシア政府はマレー語化運動すなわち国民共通の言語をマレー語に定め、文化面での国民的統合のテコとしてこの運動を進めているそうです。印象深かったのはシンガポールと同じく広い広さだという「ジエンカ」という農村風景。マレーシアの特産はゴム、オイルパーム(油ヤシ)、スズなどですが、このジエンカは周囲がゴムと油ヤシの木ばかりです。東南アジアには数十人の日本の青年海外協力隊が派遣されており、工業、農業、スポーツ、日本語といったあらゆる分野で活躍しています。このジエンカにも数人の協力隊員たちが指導に当たっており、その責任と誇りを強く感じました。

全体を通して感じるのは、訪問国は日本に比べると確かに多くの面で遅れているけれど、その国にはその国なりのよさをそれぞれにもっているということ。タイでの子どもの物売り、メナム河の水上生活などを思い浮べて、私は日本人でほんとうによかったという安心感と誇りを感じさせられた反面、豊かさの中に何かが欠けているような日本を感じさせられたのも事実です。

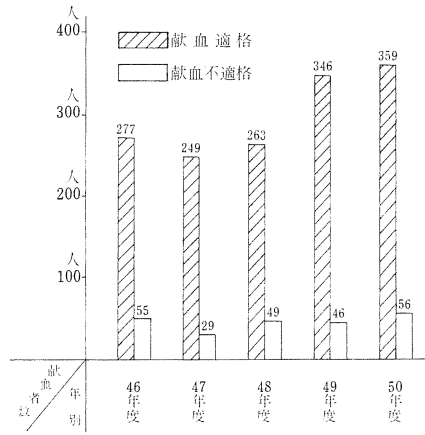
訪問国青年との交換会もあり、お互いに友情を深めました。この友情はいつまでも大切にしたいと思えます。そしてまた、わが国と東南アジアの国々との友好関係をいろいろな角度から今後も見つめて行きたいものです。

献血は生命の助け合い

昭和四十年の献血開始以来、献血者数は献血思想の浸透に伴い年々順調に上昇し、昭和四十六年度には県下では三万二千三百八十二人、当町では二百七十七人と飛躍的な伸びを示し、昭和四十九年度には県下では五万一千五百二十四人、当町で三百四十六人に達しました。



町内献血者数



すから、健康上支障はありません。血液の量自体は採血後二〜三時間で回復し、赤血球は一〜四週間で完全に回復しますので健康上なら問題はありません。なお、参考までに献血が慣習化され

しかしながら、年々進歩する医療技術や交通事故の多発、あるいは、福祉施設の強化などに伴って保存血液およびそれを原料とする各種成分の需要は年とともに増加の一途をたどっており、血液事業の強化は重要な課題として社会的に強く要請されています。

献血予約登録にご協力を

愛媛県赤十字血液センターでは緊急事態に対処するため、献血者を登録して、必要なときに献血していただけるよう、予約登録制度を設けています。

登録をしていただくと、血液が必要になったとき通知を差し上げ献血をお願いすることになります。登録の受付は、献血のとき、または愛媛県赤十字センターで行っています。

血の重要性をご理解いただき、ご協力をお願いします。

献血のできる人

- 満十六歳以上から満六十五歳未満の人で次の条件にかなう健康な人ならどなたでも献血することができます。
- 体重、男子四十五Kg、女子四十Kgを超える人
- 血液の比重が、一・〇五二以上の
- 最高血圧が一〇〇〜二〇〇mm、最低血圧が五〇〜一〇〇mmの人 (比重、血圧は採血前に献血車で検査します)
- 前回の採血から原則として一か月以上たっている人
- 過去六か月以内に妊娠または出産したことのない人
- 過去に黄だんにかかったことのない人
- 一回の献血量は二〇〇ml
- 二〇〇mlの量(牛乳ビン一本)は人体の全血量の約二〇分の一

② 明るい選挙運動の目標

立派な政治は、立派な代表なしには実現しない。その代表者は、民主主義の社会では選挙を通じてだけ選び出される。このように大切な代表者を選び出す選挙が公正、明朗なものであり真に国民のものとならない限りは、立派な政治を期待することができない。

あなたの一票が 国勢を左右する



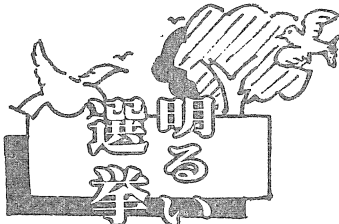
量は、イギリス四三〇ml、フランス五〇〇ml、イタリア四五〇ml、西ドイツ四〇〇ml、オーストラリア五〇〇ml、ソ連四五〇mlと、日本よりはるかに多い量です。採血に對する不安をもたれている方も多いと思いますが、献血は自分のためはもちろん、家族のため、お互いのためぜひやっておかなければならない重要なものといえます。

血液は無駄なく使われています

献血ありがとうございます。あなたが献血した血液は生きた細胞で、お金では換算できないほど貴重なものです。外科手術や救急処置で輸血が必要なおときでも、正しい型の血液が手にはいらないければ、どんなにたくさん現金があっても、なんの助けにもならないのです。現金をそのまま輸血す

るとするのは無理なことです。あなたが献血された血液は、どこかの病院にいらる患者さんの輸血用として用いられます。採血された血液は、全血と血液成分にわけられ、それぞれを必要としている患者さんに使われるのです。あなたの二〇〇mlの血液から作られる「製剤」の例をあげてみると……

全血(保存血液および新鮮血液) 〓 急性の出血に。濃厚赤血球 〓 貧血の治療に。血小板 〓 白血病、癌、心臓手術などの際における出血性の障害の治療に。血漿 〓 ショックまたは重症の火傷に対して。新鮮凍結血漿 〓 血友病の出血治療に。クリオプレチベート 〓 新鮮血漿の有効成分を濃厚に含み血友病に對して。血清アルブミン 〓 血漿と同様に。フィブリノゲン 〓 急性の出血に。白血球 〓 白血病や放射線障害の感染病に。



選挙を明らなものにしようという運動は、心ある先覚者たちの間から盛り上がりあってきた一つの国民運動である。選挙の実態をみると、このゆがめられた選挙が政治をゆがめているのではないかと推察される。選挙に膨大な金が必要であるというこ

とだけをとらえてみても、この金が政治をゆがめていること、さらにその政治から次の選挙がゆがめられていくことの悪循環が国民の目からも余りにも明白である。

選挙に買収、供応がつきまといているという現実、それらの悪質な違反を行う候補者、運動員の存在とともに、この違反を受ける社会の基盤、底流があることによるものである。この底流を消さない限りいかに整備された法律が制定されても、しよせんザル法にしか過ぎない。もちろん法律の整備というか、社会の実情に適合したものとすることや違反者の厳罰も必要である。しかし、これはあくまでも車輪の片側のことであって、他の一輪は、どうしても国民の自覚、主権者意識の向上に待たざるを得ないものである。そうしてこの主権者意識の向上だけが、われわれの民主主義の基礎を強固なものに形づくるといえるよう。

(啓発運動の進め方より抜粋)
― 次号へつづく

員 録

保育所職員の異動を4月1日に、また、本庁職員の異動を6月1日におこないました。
その結果はこの表のとおりです。どうぞよろしくお願ひします。

<p>局 長 平井 源一 書記 補 上地 末子</p> <p>◎ 議事事務局</p>	<p>室 長 上川 万敏 書記 宮岡 亀古 政所 友邦</p> <p>◎ 会計室</p>	<p>課 長 森 議 課長補佐 高橋 亮</p> <p>(庶務消防係)</p> <p>主 事 高橋 亮 平見 朝子 平田 豊子</p> <p>技 師 山下 一仁</p> <p>婦人交通指導員 稲垣美恵子 用務員 神内百合子</p> <p>(企画財政係)</p> <p>係 長 山本 勝延 主 事 和田 正義 書記 上川 慶信</p> <p>(公車管理係)</p> <p>技 師 窪 憲一 技 手 成田 信重</p>
<p>課 長 坂井弥八郎 課長補佐 久保 博道</p> <p>(商工振興係)</p> <p>主 事 (兼)係長 久保 博道 仙波 久枝</p> <p>◎ 商工課</p>	<p>技 師 大野 泰俊 技 手 三浦 義直</p> <p>(有線係)</p> <p>技 師 山下 匡広 技 手 都築 小富 書記 重松 直博 技 手 橋本 真弓</p> <p>(公社電話交換係)</p> <p>技 手 補 脇 あつ子</p>	<p>課 長 藤岡喜代夫 課長補佐 渡辺 敬</p> <p>(文書係)</p> <p>主 事 (兼)係長 渡辺 敬 書記 横道 里見 書記 久保田健市</p> <p>書記 補 友沢みつ子</p> <p>技 師 矢野上和雄 技 手 城戸 広美</p> <p>◎ 文書広報課</p>
<p>課 長 泉 芳信 課長補佐 山崎 一義</p> <p>(開発係)</p> <p>課 長 (兼)係長 山崎 一義 書記 田中 宏幸 書記 補 三秋レイ子 西山 健市</p> <p>(調査係)</p> <p>書記 補 洲尾 計邦</p> <p>◎ 開発課</p>	<p>課 長 河野 平吉 書記 山根 勇一 書記 補 二宮 正昭 久井 一</p> <p>(農地係)</p> <p>書記 補 中田 晋 書記 井上 智子</p> <p>◎ 農林水産課</p>	<p>課 長 久保 弘 主 幹 河野 平吉 課長補佐 波多野 進</p> <p>(農政係)</p> <p>主 事 上満 治雄 書記 宇都宮芳文</p> <p>(林業・水産係)</p> <p>書記 補 波多野 進 三秋 敦司</p> <p>(兼)係長</p> <p>書記 補 波多野 進</p> <p>◎ 農林水産課</p>
<p>課 長 真鍋 典秋 課長補佐 大野 智</p> <p>(庶務・工業用水道係)</p> <p>書記 大野 智 書記 補 松本伊代子 清水 俊三</p> <p>(工務係)</p> <p>技 師 中野 貴夫 技 手 坂東 敏幸 小林 吉安</p> <p>◎ 水道課</p>	<p>技 師 菊地 洋一 技 手 楠野 茂利 中田 圭助</p> <p>(農業土木係)</p> <p>技 師 佐々木晋一 技 手 森川 純行 山本 安広 森内雄二郎</p> <p>◎ 建設課</p>	<p>課 長 上田 邦彦 課長補佐 丸山 寿一</p> <p>(管理係)</p> <p>主 事 仲田 源一 書記 磯尾ハツ子 山口 早苗 井上 裕重</p> <p>(建築係)</p> <p>技 師 丸山 寿一 技 手 木下 保利</p> <p>(兼)係長 (公共係)</p> <p>技 師 菊地 洋一 技 手 楠野 茂利 中田 圭助</p> <p>◎ 建設課</p>
<p>課 長 酒井 義馬 課長補佐 友沢 敏</p> <p>(住民税係)</p> <p>書記 友沢 敏 書記 補 西田 孝 菊地 英夫</p> <p>(固定資産税係)</p> <p>書記 石住 武俊 書記 補 滝内 貫一 小西 貫一</p> <p>(収納係)</p> <p>書記 補 平田 友幸 日野 敏子 浪本 忠則</p> <p>◎ 税務課</p>	<p>技 師 笹本 栄一 技 師 草川 博昌 久保 博昌</p> <p>(環境係)</p> <p>技 師 原間 雅子 技 師 豊田 和子 一宮 義道 浦上恵美子 清水 文子 藤沢 豊彦</p> <p>◎ 衛生課</p>	<p>課 長 日田 稻生 課長補佐 小川 平</p> <p>(衛生係)</p> <p>主 事 (兼)係長 小川 平 書記 西本 幸雄 書記 石本紀美子 山本多喜男</p> <p>(国保係)</p> <p>技 師 藤沢 豊彦 技 師 清水 文子 書記 浦上恵美子 書記 補 一宮 義道 原間 雅子 豊田 和子</p> <p>◎ 衛生課</p>
<p>課 長 石丸 英雄 課長補佐 宮田 猛義</p> <p>(総務係)</p> <p>課 長 (兼)係長 隱岐 龍法 書記 山本 辰雄 書記 補 都築 住江 宮田 猛義</p> <p>(学校教育係)</p> <p>主 事 (兼)係長 宮田 猛義 主事補(社会教育) 菊地邦求 主事(公民館) 松岡 陽規 囑 託 久保 七郎 高左 潔</p> <p>◎ 教育課</p>	<p>課 長 小泉 茂</p> <p>◎ 教育委員会</p>	<p>課 長 兵頭 信男 課長補佐 池上 昭夫</p> <p>(福祉係)</p> <p>主 事 (兼)係長 池上 昭夫 書記 山根カヨ子 書記 吉田 直人 書記 補 万代 明美</p> <p>(施設係)</p> <p>技 師 矢野 克</p> <p>(年金係)</p> <p>技 師 小石 玉子 技 師 叶本 正</p> <p>(住民税係)</p> <p>書記 補 大元 宗一 書記 松本 治子 書記 城戸 茂利 久保美恵子 兵多やす子</p> <p>◎ 住民課</p>

本 庁

<p>◎連絡所</p> <p>(喜多灘連絡所) 兼主任 村上 隆志 (衛生連絡所) 兼主任 植杉 岳志 (出海連絡所) 兼主任 西岡 敏博 (相生連絡所) 兼主任 上田富喜男 (豊茂連絡所) 兼主任 久保 文章 (白滝連絡所) 兼主任 新田 道夫</p>		<p>◎港務所</p> <p>(建設課港務係) 所長(係長) 藤本 富雄 書記補 岡田 好光 船長 立脇 順二 機関長 立脇宇之助 甲板員 松下 武晴</p>		<p>◎老人ホーム白山園</p> <p>園長 池田又一郎 園長補佐兼生活指導員 大野 勇 書記 宮下紀久重 看護婦 平田由美子 栄養士 峯 佐子 寮母 鶴岡ユリ子 " 上田ミドリ " 永木喜美子 " 清水 藤子 " 大野 良子 " 富岡トシコ " 山中イチエ " 一藤 トモエ " 一宮 トモエ 寮母補佐員 清水 愛子</p>	
<p>◎公民館</p> <p>(今坊公民館) 主事 村上 隆志 (衛生公民館) 主事 植杉 岳志 (出海公民館) 主事 西岡 敏博 (大和公民館) 主事 上田富喜男 (豊茂公民館) 主事 久保 文章 (白滝公民館) 主事 新田 道夫</p>		<p>◎診療所</p> <p>(青島診療所) 看護婦 立脇りり子 (衛生診療所) 看護婦 高田 美香 (出海診療所) 看護婦 松岡 房子 (豊茂診療所) 看護婦 坂田 嘉代 (白滝診療所) 看護婦 平田美佐子</p>		<p>◎隣保館</p> <p>(今坊隣保館) 主事 村上 隆志 (衛生隣保館) 主事 植杉 岳志</p>	
<p>◎学 校</p> <p>(長浜小学校) 用務員 寺坂 満子 (長浜中学校) 用務員 坂井 英雄 書記 大岡 尚子 用務員 坂井 英雄 寮母 菊地 郁子 栄養士 小川 恵美 調理員 中谷トリエ 松本イツミ</p>		<p>◎水族館</p> <p>嘱託 新江 政雄 " 三石むめ志</p>		<p>◎焼却場</p> <p>技師 中野 健蔵 " 松石 之道 " 矢野 覚男</p>	
<p>◎体育館</p> <p>嘱託 木村カツエ</p>		<p>◎水族館</p> <p>技手 泉 友江</p>		<p>◎焼却場</p> <p>技手 田丸 富枝</p>	
<p>◎保育所</p> <p>(長浜保育所) 所長 山本美智子 主任保母 池田スミ子 栄養士 大橋 京子 保母 木之本律子 友永由美子 合田 智代 山本 智子 水沼栄美子 中上 幸子 浪本 満子</p>		<p>(喜多灘保育所) 所長 山本コトエ 主任保母 藤淵美枝子 保母 矢間栄津美</p>		<p>(豊茂保育所) 所長 大藤 恭子 主任保母 大成 節子 保母 西山みち子 調理員 都田 悦子</p>	
<p>(出海保育所) 所長 西宮 幸子 主任保母 田村 恒子 保母 鈴木佳代子 平野 悦子 笹本 直江</p>		<p>(大和保育所) 所長 谷川 俊子 主任保母 宮岡 民子 保母 西田 清子 三好 五月 菊地さと子 岡崎美智子</p>		<p>◎社会福祉協議会(出向)</p> <p>書記 橋本 初子</p>	

建設課長に上田

町職員6月異動



建設課長 上田 河野平吉

異動人員は二十九人。このうち役職者の異動内容は次の通り。

課長級では、建設課長だった兵頭信男が住民課長に、住民課長だった日田稲生が衛生課長に、また建設課長補佐だった上田邦彦が同課課長に、農林水産課長補佐だった波多野進が農林水産課長補佐に、開発課長補佐だった渡辺敬が文書広報課長補佐に、商工課長補佐だった山崎一義が開発課長補佐に、また、建設課長補佐だった丸山寿一が同課長補佐に、農林水産課長補佐だった久保博道が商工課長補佐にそれぞれ昇格。

係長級では、水道課工務係長だった木下保利が建設課公共係長に、衛生課環境係長だった平田友幸が税務課収納係長に、税務課収納係長だった矢野克が住民課施設係長に、農林水産課林業水産係長だった笹本栄一が衛生課環境係長に、建設課港務係長(港務所長)だった大野勇と老人ホーム白山園長補佐だった藤本富雄が交替。文書広報課有線放送電話係技師であった大野泰俊が同課有線係長に、住民課の中野貴夫が水道課工務係長に、農林水産課の上満治雄が同課農政係長に、建設課の佐々木晋一が同課農業土木係長にそれぞれ昇格。

出 先 機 関

表彰***

山崎さん夫婦

人命救助で

長浜四十七区、山崎勇さん(三七)と妻のハマ子さん(三三)は人命救助で、第二十八回海上保安庁開庁記念日の十二日、松山海上保安部長から表彰されました。

山崎さん夫婦は昨年七月十八日旅客船むらさき丸から誤って転落し、西宇和郡瀬戸町襖鼻灯台沖を漂流していた女性を発見し、救助するとともに応急手当てなどをしました。

4団体・9人

P T A活動功労で

次の団体および方々は、P T A活動に功労があったことなどにより、五月十日長浜中学校で開かれた長浜町P T A連合会総会の席上、同会長から表彰されました。敬称略。

喜多灘小学校P T A、今坊の松本愛護班、白滝二区愛護班、須沢子ども会(いずれも優良団体として)長浜の中野茂明、榊原啓助、

高左衛門、矢野美佐子、下須戒の田千恵子、白滝の新和子、今坊の津田忠士。

また、次の団体および方々は、同じくP T A活動に功労があったことなどにより、五月十五日大洲市民会館で開かれた喜多郡P T A連合会総会の席上、同会長から表彰されました。敬称略。

結婚



5月長浜町役場届出分(敬称略)



今月のトップは須田廣美・由江さんのカップル

住所氏名 婚姻届時年齢

- 白滝 須田 由江 (二二六)
- 白滝 山根 広美 (二二六)
- 須生 植杉 岳志 (二二六)
- 須生 沢田 岳志 (二二六)
- 白滝 上野 幸男 (二二五)
- 保内町 中八千代 (二二五)
- 下須戒 岡田 和生 (二二七)
- 柴 上満 福子 (二二七)
- 観音寺 菊地 公博 (二二八)
- 観音寺 津田 昭子 (二二八)
- 長浜 久保 真理子 (二二七)

寄付

も優良団体として、長浜の矢野美佐子、榊生の東本健、下須戒の菅幸子。

○大洲市八多喜の友永悦子さん(二七)：レコードプレーヤー一台を白滝保育所へ
○昭和五十年度沖浦保育所母の会：ロッカー一台を沖浦保育所へ

住所氏名 死亡時年齢

- 黒田 久保 勲 (二二五)
- 内子町 上神 貴恵 (二二三)
- 沖浦 滝野 重雄 (二二六)
- 大洲市 谷 加代子 (二二六)
- 沖浦 上田 園子 (二二三)
- 長浜 小谷 朋子 (二二七)
- 下須戒 宮内 朋子 (二二七)
- 長浜 兵頭 誠 (二二八)
- 大洲市 松本 キクエ (二二八)
- 沖浦 菊地 匡 (二二七)
- 長浜 山本 美恵子 (二二七)

お誕生おめでとう!!

5月届出分(敬称略)

- 住所 保護者氏名 続柄 児名
- 出海 坪田 伊左男 二女 徳子
 - 下須戒 白石 茂春 長女 佳代子
 - 柴 中嶋 正一 長女 一美
 - 今坊 北山 定古 二男 将人

おくやみ

5月届出分(敬称略)

- 住所氏名 死亡時年齢
- 柴 小西 角衛 (七八)
 - 出海 井上 敏一 (四九)
 - 長浜 西崎 泰明 (四二)
 - 沖浦 宮脇 吉晴 (六五)
 - 長浜 川井 ツル (六五)
 - 白滝 堀内 スミエ (七九)
 - 長浜 酒井 サダヨ (八七)
 - 下須戒 浦上 茂 (四八)
 - 白滝 山岡 シゲ (七七)
 - 白滝 大西 クリヨ (九三)
 - 榊生 増田 シゲヨ (七九)
 - 戒川 二宮 アサノ (七七)
 - 戒川 叶本 マツエ (八一)

編集後記

恒例の町職員録を掲載しましたため「ホー!!」などいつもの記事が一部載せられませんでした。スペースの関係で七ページに紹介できなかった役職員以外の町職員員の異動をここで紹介させていただきます。と、総務課の協あつ子が文書広報課へ、開発課の菊地英夫が税務課へ、建設課の田中宏幸が今坊隣保館(兼連絡所・公民館)の洲尾計邦が開発課へ、文書広報課の久保美恵子・農林水産課の亀田稔が住民課へ、衛生課の村上隆志が今坊隣保館(兼連絡所・公民館)へ、豊茂連絡所(兼公民館)の宇都宮芳文が農林水産課へ、税務課の井上裕重が建設課へ、住民課の久保文章が豊茂連絡所(兼公民館)へ。以上の通りです。どうぞよろしく。



7月ともなればすべての生物は最高の躍動を開始する。躍動とは生長と活動の二つを指す。その生長と活動の原動力は熱と光と水の三つにはかならない。7月という月はこの生命の根元である大自然の三要素が最高度に与えられる月である。何の変哲もない月のように思われがちだが実はさにあらずということが分る▲生物の内でも植物や禽獣虫魚の類は正直にこの自然の恵みに順応して精一杯の躍動をいっせいに続けるのであるが、人間の場合はどうであろう。躍動とは正反対の夏枯れ現象に明け暮れておりはしないか。暑い、だるい、活動は秋まで待とうというのが人間の現実のようだ▲暑中御見舞を受けなければならない習慣そのものもこれ人間の本来なりときめてかかっているようだが、世の中が大変かわって人類の未来についてあれこれ心配しなければならない時代にさしかかっているようだから、このへんで大自然の営みにならい、7月という月を見直して躍動のできる人間改造を試みてはどうだろう▲熱と光と水をこの豊富な時期に直接人間が利用する工夫はないか。力と美と健康をこの月に思い切り伸ばす工夫はないか。夏枯れにならない経済の動かし方はないものか。7月にもいろいろと考えるべきことがらがあることを緑蔭の憩いの種にして置こう。

人口世帯数

楽しく住みよい町、豊かで働きがいのある町
美しい人情と文化の町をつくり、人口をふやしましょう

	6月1日現在	前月との比較
人口	13,641人 (男 6,473人 女 7,168人)	18人減 (12人減 6人減)
世帯数	3,911世帯	2世帯増

